

第5章 環境との共生（アセットマネジメント）

公共下水道事業におけるアセットマネジメントへの取組みとして、3つの重要な要素（施設資産のマネジメント、資金のマネジメント、人材のマネジメント）を一体的にとらえて最適化を図ります。宝塚市下水道ビジョン2025では、「老朽化対策（第5章1）」において施設資産のマネジメントの取組みを示し、「経営健全化（第6章1）」において資金のマネジメントと人材のマネジメントの取組みを示しています。また、資金のマネジメントの面においては、「普及対策（第5章2）」も重要な要素となります。今後、これらの取組みに基づき、公共下水道事業のアセットマネジメントを推進します。

なお、アセットマネジメントの推進において、市民（下水道サービス受益者）による下水道への正しい理解が重要となることから、「市民参画（第6章2）」において市民理解の促進への取組みを示します。

1 老朽化対策

➤ 取組方針

本市の下水道管路は、昭和50年（1975年）から平成5年（1993年）頃にかけて整備されたものが多く、今後老朽化することが見込まれます。その一方で、公共下水道事業の財政状況は逼迫しており、投資余力が減退方向にあります。今後、限られた人員と経営資源で効率的・効果的に維持管理や修繕および改築を適切に実施してアセットマネジメントを推進し、下水道の本来の目的である環境との共生を維持します。

「管理・運営」の時代に適した人・モノ・カネが一体となった事業管理体制（アセットマネジメント）を確立するため、平成27年（2015年）11月に策定された「下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン-2015年版-」（平成27年（2015年）11月 国土交通省水管理・国土保全局下水道部、国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部）に従い、改築更新、維持・修繕に関する基本的な事項を定め、維持管理を効率的・効果的に実施するためのストックマネジメントシステムを構築します。

1) 管渠改善率の向上

これまで下水道管路のTVカメラ調査を約70km実施し、劣化した管路については修繕や改築を実施してきました。引き続き、TVカメラ調査を計画的に行い、老朽管路の修繕・改築を進めます。

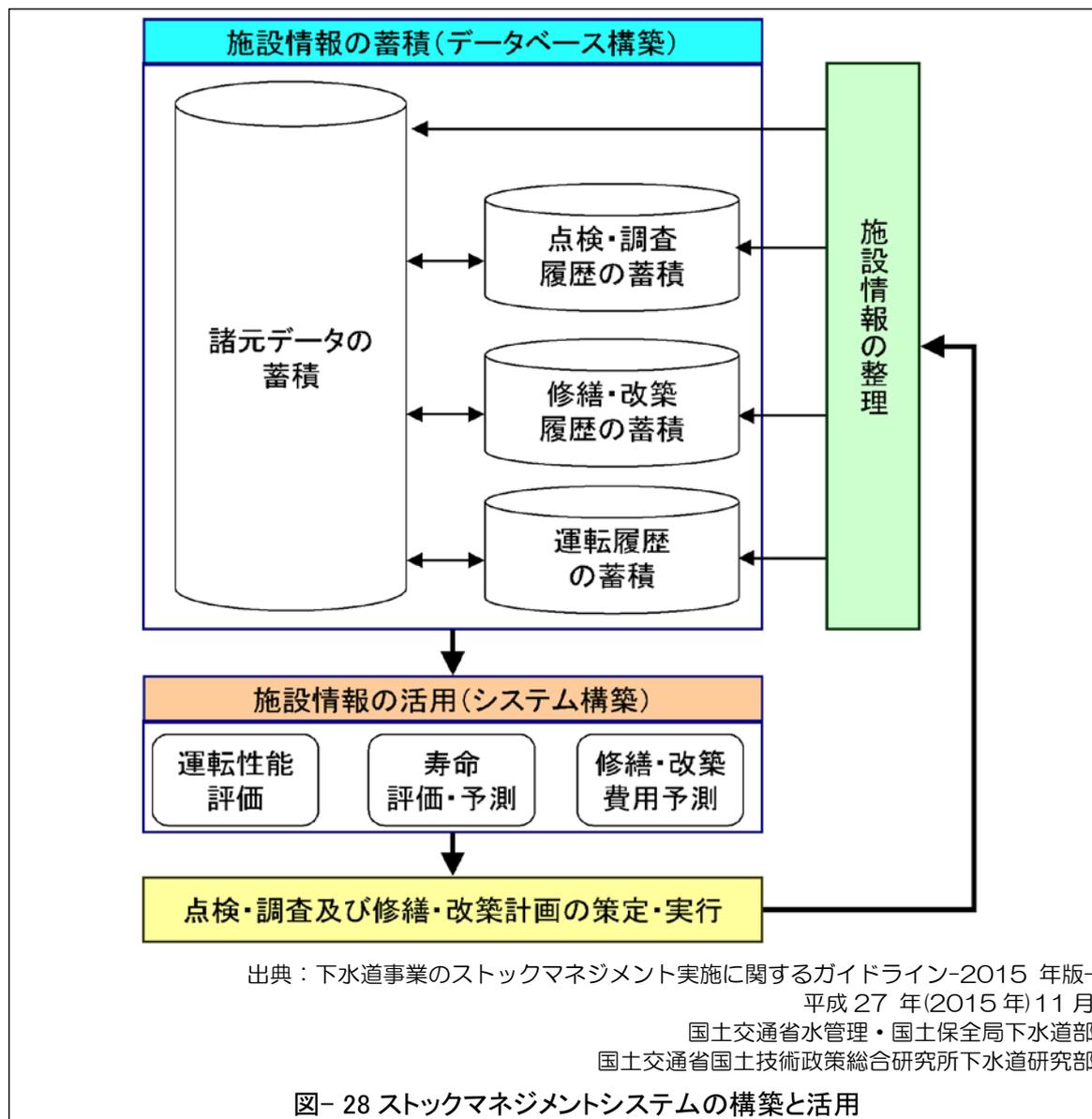
また、今後策定する「下水道事業管理計画」に基づき、点検や清掃の頻度、腐食箇所定期点検基準、異常判明時の修繕等の基準を設定し、適正な維持管理を実施します。

2) スtockマネジメントシステムの構築

今後、厳しい財政状況のもと、限られた人員で老朽化対策を適切に実施するために、スト

ックマネジメント手法を導入し、効率的かつ効果的に施設管理を行います。

ストックマネジメント手法の導入の一環として、維持管理情報のデータベース（ストックマネジメントシステム）を構築します（図- 28 参照）。それに基づき改築や修繕を適切かつ計画的に実施します。



2 普及対策

➤ 取組方針

市街化区域（北部の市街化調整区域を除く区域）における下水道（污水）人口普及率と水洗化率を向上させ、市街化区域内での水洗化率 100%を目指します（図- 29 参照）。これにより公共水域の水質保全に貢献します。

具体的な対策として、今後も「宝塚市水洗便所改造資金助成制度」および「宝塚市私道排水設備布設工事助成制度」を継続し、残りの未普及箇所への普及促進を継続的に実施します。

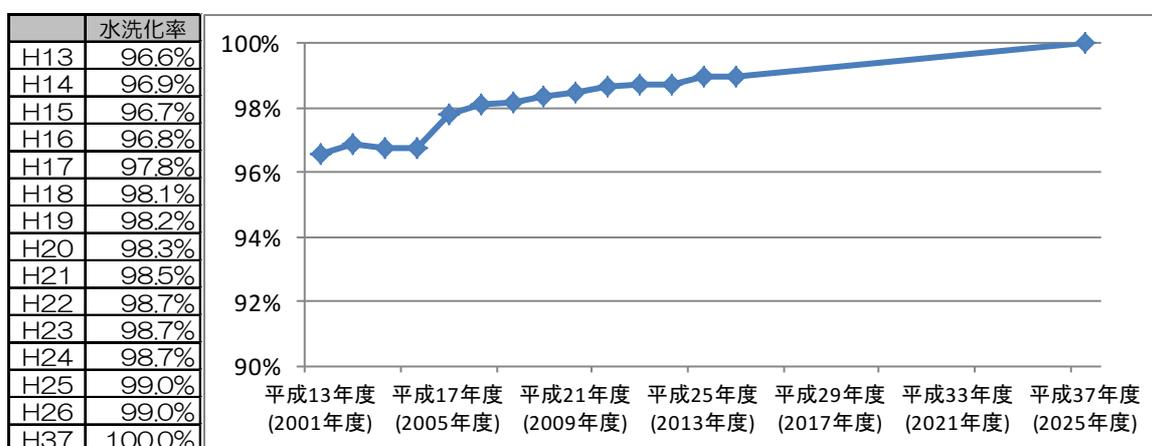


図- 29 水洗化率の推移と将来予測